

5月の 園便り

新潟青陵幼稚園

(20年) 園長 加藤由美子



桜の花が終わり、今度はチューリップが花びらを大きくひらいています。チューリップを見ながら歩いていたら、「きれいね」「ほんとにきれいね」でもこのきれいなチューリップを切り落とす人もいますからね、本当に日本はどうなっていくんでしょうね」という声が聞こえてきました。確かに、心配になるようなことが多くなってきましたね。人は粗末に育てられると自分を大切に出来なくなるのだそうです。粗末に育てられると粗末に生きるというのです。つまり、自分の人生を大切に生きることが出来るのは、大切に育てられた人なのだというのです。

市街バスを待っているとき、4歳くらいの男の子とお母さんがバスを待っていました。お母さんが「ほら、見てごらん、面白いよ」と携帯を渡しました。きっとバスを待っている間を飽きさせないようにという配慮だったのでしょう。その時バスがきました。男の子はバスを見て、手を滑らせて、携帯を落としてしまいました。お母さんは「あー！だめじゃない」と少し怒った声になりました。男の子はふくれました。すると「も～、バスに乗れないよ！」「いやだ～」「じゃあ、何でそんなに悪い子になるの！」「……」結局、その親子はバスに乗らなかったのですが、この親子のやり取りを背中で聞きながら切なくなってきました。携帯を落としたのは、わざとではなかったのですが携帯が落ちたときに男の子が少しにやっとしたのが、お母さんには嫌だったようです。「携帯はとても大事なもののなのに、それを落として、この子は面白がっている」という思いを持ったのかもしれませんが——私の推測ですが——。この親子の姿を見て、私は、自分もまた若いころ同じようなことをして、わが子の心をへこませていたなとおもって切なくなりました。今なら、子どもがにやっとしたのは、自分の失敗にどうしていいか分からなかったのかもしれないと思うことが出来ますし、結果的に子どもを怒らなければならないような（携帯を持たせる）ことは、避けるということを考えられますが——子どもを大切に育てるということは、大人が自分を優先するのではなく、子どもを中心にして手塩にかけて育てることが必要なのだらうと思うのです。子育ての時期は、親にとっては、自分のためではなく、人のために生きるという生き方ができる尊い時期なのではないかと、私自身大きな反省をしつつ思っています。これからお出かけのおおい時期ですが、子どもの望むことと、大人の思いは違うことを知っていただきたいと願っています。ご家族一緒に近所を散歩して、ちいさな名もない草を摘むような、人と人との距離が近い、思いが通い合うような距離にいられる事を子ども達は望んでいます。たまには子どもに添った楽しみの時間をも持っていていただければ幸いに存じます。

20年5月の予定

日	曜	給食	降園時間	行事
1	木	○	2:00	
2	金	×	2:00	親子なかよしの会 西海岸公園にて、
3	土			憲法記念日
4	日			みどりの日
5	月			子どもの日
6	火			振替休日
7	水	○	2:00	
8	木	○◎	2:00	赤ばらさんは給食試食会があります。試食会ではない方は11:30分降園
9	金	○◎	2:00	赤ばらさんは給食試食会があります。試食会ではない方は11:30分降園
10	土			第2土曜日
11	日			
12	月	○	2:00	赤ばらさんは本日より給食が始まります。2:00降園です。
13	火	○	2:00	
14	水	○	2:00	
15	木	○	2:00	
16	金	○	2:00	
17	土	×	11:30	自由登園日 つばみの広場があります。
18	日			
19	月	○	2:00	短期大学部幼児教育学科の学生が実習に入ります。
20	火	○	2:00	
21	水	×	11:30	誕生会です。5月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。
22	木	○	2:00	赤ばら1組学級懇談会があります。
23	金	○	2:00	赤ばら2組学級懇談会があります。 実習終了。
24	土			第4土曜日
25	日			
26	月	○	2:00	定期健康診断を行います。
27	火	○	2:00	
28	水	○	2:00	
29	木	○	2:00	
30	金	○	2:00	
31	土	×	11:30	森の探検隊を行います。詳しいお便りは後日差し上げます。